平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名　株式会社 アドバネクス　　上場取引所　東
コード番号　5998　URL　http://www.advanex.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 加藤　雄一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理本部長　(氏名) 大野　俊也　TEL 03-3822-5865

四半期報告書提出予定日　平成24年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,211	△1.9	187	62.1	110	―	228	―
24年3月期第1四半期	6,331	△20.6	115	△46.4	△1	―	△145	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△57百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　△312百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	5.49	―
24年3月期第1四半期	△3.67	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	19,229	2,714	14.0	64.98
24年3月期	18,416	2,967	15.0	66.37

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　2,697百万円　24年3月期　2,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	0.00	0.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		―	―	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,300	△6.1	260	△36.5	100	△47.6	160	793.1	3.85
通期	25,000	△0.8	650	6.0	350	△25.6	300	32.5	7.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	41,533,708 株	24年3月期	41,533,708 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	25,440 株	24年3月期	22,946 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	41,509,226 株	24年3月期1Q	39,685,745 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11
（６）重要な後発事象 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における経済環境は、海外では欧州の債務危機や新興国の成長鈍化により景気が減速してきましたが、国内では東日本大震災の復興需要や個人消費の回復により、景気は緩やかに回復しました。こうした中で、当社が関連するＯＡ機器市場は欧米市場の冷え込みの影響を受けたものの、自動車市場は、エコカー補助金の政策効果等により販売が好調でした。当社におきましては、精密ばね事業とプラスチック事業において、前年同四半期に比べＯＡ機器向けの売上高が減少したものの、自動車向けの売上高が伸長しました。一方、ヒンジ事業においては、事業縮小に伴い売上高は前年同四半期に比べ減少したものの、損益は大幅に改善しました。

当第１四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比1.9％減の62億11百万円となりましたが、営業利益は前年同四半期比62.1％増の１億87百万円、経常利益は１億10百万円（前年同四半期は１百万円の損失）となりました。また、昨年10月に洪水被害を受けたタイ工場における保険金収入等により、特別利益１億74百万円を計上しました。これらの結果、四半期純利益は２億28百万円（前年同四半期は１億45百万円の純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

［精密ばね事業］

国内では、自動車向けの売上高は増加したものの、ＯＡ機器向けやＰＣ関連向けの収益性の高い商品の売上高が減少しました。一方、海外では、英国において医療機器向け等の売上高が減少したものの、米国やアジアにおいては自動車向け等の売上高が増加しました。これらの結果、売上高は前年同四半期とほぼ横ばいの33億66百万円となりましたが、セグメント利益は同42.8％減の１億44百万円となりました。

［プラスチック事業］

国内では、ＯＡ機器向けの売上高は減少したものの、自動車向け製品等の売上高が増加しました。海外においても、ベトナムやマレーシアで自動車向け等の売上高が伸びました。一方、国内及び中国において賞与や賃上げ等に伴い人件費が増加したため、利益は減少しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比9.6％増の26億49百万円となりましたが、セグメント利益は同52.0％減の42百万円となりました。

［ヒンジ事業］

ヒンジユニット販売は、携帯電話向け事業の縮小とＰＣ向け事業の売却に伴い、売上高が減少したものの、製品価格の値上げや人件費等の固定費削減を進めた結果、損益が大幅に改善しました。売上高は前年同四半期比65.8％減の１億95百万円となりましたが、セグメント利益は２百万円（前年同四半期は２億30百万円の損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間の総資産は192億29百万円と前連結会計年度末に比べ８億12百万円増加しました。

資産の部においては、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加により流動資産は９億73百万円増加しましたが、有形固定資産が１億37百万円減少、無形固定資産が12百万円減少、投資その他の資産が11百万円減少しました。

負債の部においては、流動負債が６億82百万円、固定負債が３億83百万円それぞれ増加しました。主な要因は、借入金の増加によるものであります。

純資産の部においては、純資産合計額が27億14百万円となり、前連結会計年度末に比べて２億53百万円減少しました。減少の主な要因は、円高の影響により、為替換算調整勘定のマイナス残高が２億67百万円増加したことや、M.A.C.TECHNOLOGY(MALAYSIA)SDN.BHD.の株式を追加取得したことにより少数株主持分が１億95百万円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、平成24年７月31日に公表しました予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,677,452	3,402,959
受取手形及び売掛金	5,430,587	5,679,593
商品及び製品	735,737	768,914
仕掛品	563,056	556,857
原材料及び貯蔵品	1,004,397	868,019
繰延税金資産	103	209
その他	472,889	573,779
貸倒引当金	△51,875	△44,458
流動資産合計	10,832,349	11,805,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,647,761	1,581,806
機械装置及び運搬具（純額）	2,040,649	1,931,633
土地	2,157,700	2,143,918
その他（純額）	541,058	592,364
有形固定資産合計	6,387,169	6,249,722
無形固定資産	193,114	180,504
投資その他の資産	1,004,134	993,079
固定資産合計	7,584,418	7,423,306
資産合計	18,416,767	19,229,181
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,892,379	4,148,611
短期借入金	4,859,002	4,931,784
1年内返済予定の長期借入金	1,466,081	1,566,344
未払法人税等	140,535	155,122
賞与引当金	137,395	224,884
その他	965,667	1,116,749
流動負債合計	11,461,060	12,143,497
固定負債		
長期借入金	1,744,864	2,105,775
繰延税金負債	308,356	306,010
退職給付引当金	1,491,161	1,529,134
環境対策引当金	7,106	7,106
資産除去債務	38,234	38,229
その他	398,490	385,408
固定負債合計	3,988,212	4,371,664
負債合計	15,449,273	16,515,161

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,451,610	3,451,610
資本剰余金	2,551,467	2,551,467
利益剰余金	△1,541,812	△1,313,796
自己株式	△3,525	△3,735
株主資本合計	4,457,740	4,685,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,580	△22,937
為替換算調整勘定	△1,698,141	△1,965,229
その他の包括利益累計額合計	△1,702,722	△1,988,166
新株予約権	16,640	16,640
少数株主持分	195,836	－
純資産合計	2,967,494	2,714,019
負債純資産合計	18,416,767	19,229,181

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	6,331,116	6,211,006
売上原価	4,988,689	4,878,938
売上総利益	1,342,426	1,332,067
販売費及び一般管理費	1,226,621	1,144,387
営業利益	115,805	187,680
営業外収益		
受取利息	1,480	2,396
受取賃貸料	22,329	22,177
持分法による投資利益	8,716	13,442
その他	31,236	26,115
営業外収益合計	63,763	64,131
営業外費用		
支払利息	62,220	59,331
為替差損	82,578	54,287
その他	36,048	27,931
営業外費用合計	180,848	141,549
経常利益又は経常損失（△）	△1,279	110,262
特別利益		
固定資産売却益	1,815	2,181
受取保険金	－	167,050
子会社清算益	15,900	－
負ののれん発生益	－	5,627
その他	3,410	104
特別利益合計	21,126	174,964
特別損失		
固定資産売却損	－	913
固定資産処分損	153	63
持分変動損失	85,375	－
訴訟関連損失	32,192	－
その他	6,815	－
特別損失合計	124,537	977
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△104,689	284,248
法人税、住民税及び事業税	45,327	56,110
法人税等調整額	3,050	122
法人税等合計	48,377	56,232
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△153,067	228,016
少数株主損失（△）	△7,289	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△145,777	228,016

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△153,067	228,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△774	△17,421
為替換算調整勘定	△158,425	△267,087
持分法適用会社に対する持分相当額	△290	△935
その他の包括利益合計	△159,489	△285,443
四半期包括利益	△312,557	△57,427
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△299,238	△57,427
少数株主に係る四半期包括利益	△13,319	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,343,404	2,417,321	570,390	6,331,116
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,087	458	―	21,545
計	3,364,491	2,417,779	570,390	6,352,661
セグメント利益又はセグメント損失（△）	252,294	89,210	△230,112	111,392

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

当社の連結子会社であるフジマイクロ株式会社は、平成23年４月28日に自己の保有していた株式を売却したことにより、当社の議決権比率が28.24％となったため、当第１四半期連結累計期間より、持分法適用関連会社になりました。

この影響により、モーター事業の資産の額が1,988,356千円減少しております。

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	111,392
セグメント間取引消去	3,711
その他の調整額	701
四半期連結損益計算書の営業利益	115,805

４．報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結累計期間から、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。前連結会計年度までは、精密ばね事業、プラスチック事業、モーター事業、ヒンジ事業で記載していましたが、主として、モーター事業を行っていた当社の子会社フジマイクロ株式会社が、平成23年４月28日に、自己の保有していた株式を売却したことにより、当社の議決権比率が28.24％となったため、持分法適用関連会社になりました。その結果、当第１四半期連結累計期間において、連結子会社でありましたフジマイクロ株式会社を連結の範囲から除外したことに伴いモーター事業区分を廃止いたしました。

５．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,366,489	2,649,303	195,214	6,211,006
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,565	9,822	―	31,387
計	3,388,054	2,659,125	195,214	6,242,394
セグメント利益	144,436	42,835	2,712	189,984

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	189,984
セグメント間取引消去	△2,304
四半期連結損益計算書の営業利益	187,680

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれん発生益）

当第１四半期連結累計期間において、プラスチック事業セグメントにおいて5,627千円の負ののれん発生益を計上しております。これは、当社連結子会社であるM.A.C.TECHNOLOGY(MALAYSIA)SDN.BHD.の株式の追加取得を行い完全子会社化したことにより発生したものであります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

（資本金及び資本準備金の額の減少ならびに剰余金の処分）

当社は、平成24年６月21日開催の当社第64期定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少ならびに剰余金の処分を行うことを決議いたしました。なお、平成24年７月31日に効力が発生しております。

Ⅰ　資本金及び資本準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の目的

過年度の欠損金を填補するとともに、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保し、財務体質の健全化を図るとともに株主配当や自己株式の取得を可能とするためであります。

Ⅱ　資本金及び資本準備金の額の減少の要領

会社法第447条第１項及び会社法第448条第１項の規定に基づき、資本金の額及び資本準備金の額を減少し、減少した金額をその他資本剰余金に振替えるものであります。なお、発行済株式総数の変更はいたしません。

減少する資本金の額	2,451,610千円
増加するその他資本剰余金の額	2,451,610千円
減少後の資本金の額	1,000,000千円

減少する資本準備金の額	612,902千円
増加するその他資本剰余金の額	612,902千円
減少後の資本準備金の額	250,000千円

Ⅲ　剰余金の処分要領

会社法第452条の規定に基づき、上記Ⅱで振替えたその他資本剰余金の額を含めた4,746,361千円と別途積立金200,000千円を繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補しました。

Ⅳ　日程

平成24年５月11日　取締役会決議
平成24年６月21日　定時株主総会決議
平成24年７月25日　債権者異議申述最終期日
平成24年７月31日　効力発生